

明日香村歴史的風土創造的活用事業計画

令和2年4月
明日香村

1. 総論

1-1. 計画の目的

明日香村の歴史的風土は、そこに住む人々の生活の営みの中で形成され受け継がれ、今ある姿そのものが1400年の営みの集積であることに誇りを持ち、国内外の多くの人々の理解・協力・参加を得ながら、次世代へと引き継いでいくべき国家的価値を有するものである。

本計画は、明日香村における歴史的風土の保存等をより一層推進するため、「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等を今後一層進めるための方策はいかにあるべきか」(令和元年7月22日社会資本整備審議会)及び「明日香村における生活環境及び産業基盤の整備等に関する基本方針」(令和2年1月23日国都景歴第35号)を踏まえ、歴史的風土の創造的活用に加え、明日香村の主体的取組の一層の推進や、歴史的風土の保存のためのきめ細かな景観の維持・向上対策等を計画的に行うため、また、明日香村が掲げる村づくりの方針である『明日香まるごと博物館』の実現に向け、明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業に関する計画を策定するものである。

1-2. 計画期間

本計画の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5カ年とする。

2. 歴史的風土に関する現状及び課題

2-1. 村の概況

(1) 位置と地勢

明日香村は、奈良盆地の南東部に位置し、大阪から約40km、奈良市から約25kmの圏内にある。北西から北にかけては、畝傍山・耳成山・香久山の大和三山が連なる橿原市に接し、東は多武峰山系によって桜井市と吉野町に接し、南及び西は高取山系によって高取町に接している。

面積は24.10 km²で、北部には飛鳥川、百貫川、中の川、戒外川により、南西部には高取川、平田川、檜前川による狭長な盆地が形成されているほか、飛鳥川、冬野川沿いの谷部を除き概ね傾斜地となっている。

(2) 沿革

明日香村は、飛鳥時代と呼ばれる6世紀末から7世紀末にかけての約100年間、一時期を除いて都が営まれ、天皇という称号や日本という国号が初めて用いられ、律令が初めて編纂されるなど、日本の古代国家体制が形成された地域であるとともに中国や朝鮮半島などの東アジア文化の影響を受けながら飛鳥文化が開花した地域である。

村内には宮跡、寺院跡、古墳などの歴史文化資源が数多く存在し、万葉集で詠われた風景を偲ばせる自然的環境、棚田や集落等の農村環境、歴史的な町並み、地域で継承されてきた祭礼・行事等が一体となって特色ある歴史的風土を形成している。

(3) 人口

平成27年度国勢調査では、総人口は5,523人で、うち15歳未満の年少人口が524人(9.5%)、65歳以上の老年人口が2,019人(36.6%)となっており、平成22年度の状況(総人口5,856人、15歳未満の年少人口率9.8%、65歳以上の老年人口率30.8%)と比較しても、人口減少と少子高齢化が進んでいる。

産業別就労者数をみると、第3次産業就労者数が68.2%と最も多く、第2次産業就労者数は20.5%、第1次産業就労者数は11.3%となっている。

(4) 文化財

明日香村内には飛鳥宮跡や飛鳥京跡苑池等の宮跡、飛鳥寺跡や川原寺跡等の寺院跡、石舞台古墳や高松塚古墳等の古墳など、飛鳥時代における政治的文化的中心地であった痕跡が遺跡として多数点在している。

このうち、文化財保護法により21件が史跡指定されており、特別史跡である石舞台古墳、高松塚古墳、キトラ古墳については、国営飛鳥歴史公園内において保存・整備されている。また、有形文化財として23件が重要文化財に指定されており、そのうち3件が国宝に指定されている。

(5) 観光

明日香村を訪れる観光客数は、高松塚古墳壁画が発見され、飛鳥ブームとなった昭和50年代のピーク時には年間約180万人であったが、その後は減少傾向にあり、近年では年間約80万人で推移している。

また、宿泊者数が観光客数に占める割合は農家民泊等の取り組みにより増加傾向にある。

2-2. 歴史的風土の現状及び課題

明日香村は昭和55年に制定された「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」等の規制により、歴史文化資源と周辺環境が一体となった他に類例を見ない貴重な歴史的風土が良好に保存されてきたが、

人口減少や少子高齢化、農林業をはじめとする地域産業の低迷等が深刻化している。

その結果、耕作放棄地や空き家の増加など、明日香らしい田園景観・里山景観・集落景観の維持保全が困難な状況となっている。

この現状に対しては、昭和55年から現在に至るまで実施されている明日香村整備計画に基づく事業及び明日香村整備基金事業に加えて、平成12年度に創設された明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金により、これらの課題解消に向けた以下の取り組みを実施してきた。

(1) 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備

今は見えない地下遺構をAR・VR技術等を用いて映像化することにより、見える化を実現し、誰もが歴史を体感できる環境の整備に着手するとともに、ネットワーク道路の改修により、点在する歴史文化資源を快適に周遊できる歴史文化学習の場の整備が図られた。

今後は、現在も数多くの地下遺構が埋蔵されている中で、計画的かつ継続的な発掘調査による、歴史的価値の証明とわかりやすい歴史展示による幅広い活用等が求められる。

(2) 明日香村にふさわしい景観創出

大字景観計画の策定により、住民主体による地域単位でのきめ細やかな景観形成の取り組みを推進するとともに、集落ごと(大字管理組合)の景観維持活動に加え、周辺環境と調和した公共施設等の修景が図られた。

今後は、遊休・荒廃農林地や管理の行き届いていない「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」による買入地が多く存在する中で、多様な担い手による歴史的風土の保存を推進するためのボランティア活動の増加に向けた受入体制の充実、また、地域ごとに特色ある貴重な景観を保全継承していくための大字景観計画の策定推進等が求められる。

(3) 歴史的風土を活用した地域産業振興

村内農産物を用いた特産品の開発支援及び販売促進を行い、新商品の開発などが図られた。

今後は「農」の担い手不足という、さらに深刻な状況が予測される中で、農地の流動化や新規就農支援、6次産業化の推進が求められる。

(4) 歴史的風土の保存についての国民啓発

発掘調査の実施やその成果に基づく企画展及び全国講演会等により、明日香村の歴史的価値を多くの人々に啓発するとともに、村内の幼稚園や小中学校における郷土学習等を通して、明日香村の魅力発信と人材育成が図られた。

今後は、郷土学習や生涯学習に用いる地域教材の内容等をさらに検証するとともに、明日香村の魅力を国内外に発信するための一層の取組が求められる。

(5) 歴史的風土を活用した観光・交流による魅力向上

観光来訪者に対する情報提供や受入環境の整備を実施することにより、効果的なプロモーションを展開することができ、多様なターゲットへの誘客に着手できた。

今後は、さらなる観光来訪者の誘客を促進するため、長期滞在を見込んだ古民家の再生・活用や民間活力の導入を促進するとともに、歴史文化資源をはじめとした明日香村の多様な魅力が体感できる体験プログラムの充実、さらには宿泊者数増加のための施策推進が求められる。

3. 歴史的風土創造的活用に関する方針及び目標

これまでの取り組みにより歴史的風土の保存や生活環境の基盤については一定の成果は得られているが、依然として人口減少・少子高齢化に伴う地域活力の低下が続いている状況下において、明日香村の歴史的風土の保存等をより一層推進するためには、「歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備」、「明日香村にふさわしい景観創出」、「歴史的風土を活用した地域産業振興」、「歴史的風土の保存についての国民啓発」、「歴史的風土を活用した観光交流による魅力向上」に関する事業に加えて、明日香村の主体性を生かし、自立性を高めていくための取り組みとして「民間企業・地域団体・外部人材等と連携した地域活性化」が不可欠であり、以下に掲げる方針及び目標に基づき計画的に事業を実施する。

3-1. 方針

(1) 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備

明日香村内に潜在する各時代の歴史文化資源を新たな魅力として創出し、歴史展示等の活用につなげるため、多様な視点や分野からの調査・検証を推進する。

また、歴史文化資源を快適に安全で安心した周遊ができるよう、ネットワーク道路や案内施設等の整備を推進する。

さらに地下遺構の展示の積極的な公開を含め、視覚的に認識できる展示と周辺遺跡との関連性や飛鳥時代に活躍した人物等が理解できる展示を推進する。

(2) 明日香村にふさわしい景観創出

住民意識の向上に向け、大字ごとの特性や誇りを継承するための大字景観計画の策定を推進する。また、良好な集落景観を維持・継承していくため、住民に対する多様な活動支援を行うとともに、周辺の環境と調和した公共施設等の修景を実施する。さらに、樹林地の適正な管理を通じた良好な宮跡・田園・里山といった連続性のある良好な景観の創出、林縁部において鳥獣対策にも寄与する緩衝帯の整備を推進する。

(3) 歴史的風土を活用した地域産業振興

担い手不足が深刻な農業の維持・保全に向けて、基盤となる環境整備を実施するとともに、農商工の活性化による雇用機会の維持及び創出を推進する。また、新規就農者に対する支援の充実や、ブランディングを踏まえた農業の6次産業化を推進する。

さらに、地域活力の基底となる定住人口の増加や雇用機会の創出に向けて、空き家・土地情報バンク制度の充実や市街化区域における住宅地創出、企業誘致等に向けた取り組みを推進する。

(4) 歴史的風土の保存についての国民啓発

明日香村の歴史・文化を体系的に学習する郷土学習や村の魅力を広く発信できる人材の養成、伝承芸能の保存活動を通じて、村の魅力を広く国民に啓発し、次世代への継承を推進する。また、明日香村の歴史文化資源等の価値を明らかにするため、企画展や講演会等を通じて魅力を発信する。

また、国内外への訴求力を高めるため、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の実現に向けて村内の歴史文化資源の魅力発信や歴史的風土の保存と活用のための理解・協力活動を推進する。

(5) 歴史的風土を活用した観光・交流による魅力向上

観光来訪者のさらなる誘客に向け、鉄道駅や歴史文化資源、観光拠点施設等をつなぐ新たな効率的な周遊手段の創出や、利用促進に向けた取組を推進する。また、文化財や自然、農業、祭礼行事等をはじめとした明日香村の多様な魅力が体感できる体験プログラムの充実等を実施し、受入環境の整備を推進する。

さらに、来訪意欲の向上や観光来訪者と村民の交流の促進を図るため、歴史的風土を活用したイベントを企画・実施するとともに、観光来訪者のターゲットに合わせた戦略的なプロモーションを推進する。

(6) 民間企業・地域団体・外部人材等と連携した地域活性化

明日香村の主体性を活かし、自立性を高めていくため、特に観光及び農業分野の実態調査と戦略策定を行い、多様な団体と連携して、今後目指すべき将来像を明確化する。

また、観光産業及び地域経済の活性化を図るため、民間事業者による空き家や既存住宅のリノベーションに対する支援を実施するとともに、滞在型観光メニューを一括で管理できる「新たな滞在型観光地整備」に向けた検証を村内事業者等と連携して推進する。

さらに、荒廃した農地や里山・森林の修景の担い手として、企業・ボランティア団体等の受入体制の充実を図り、多様な団体との連携による歴史的風土の保存と活用を推進する。

3-2. 目標

次の指標を定め、当交付金事業を行うことにより総合的に成果を求める。

指 標	令和 6 年度 の目標値	現状値	方針との対応
① 世界遺産関連施設の入場者数	1,000 千人/年	740 千人/年	(1)～(5)
② 若年層(20～30 代)の社会増数	10 人/年	△13 人/年	(1)～(6)
③ 建築物等の修景件数	300 件(累計)	—	(2)
④ 里山整備面積	2ha(累計)	—	(2)
⑤ 農産物直売所の売上金額	450,000 千円/年	400,000 千円/年	(3)
⑥ 空き家契約成立件数	50 件(累計)	—	(3)
⑦ オーナー制度会員数	800 人/年	650 人/年	(3) (4)
⑧ 村内宿泊客数	19,000 泊/年	11,100 泊/年	(3) (5) (6)
⑨ 埋蔵文化財展示室入場者数	12,500 人/年	6,752 人/年	(4)
⑩ 新規起業件数	40 件(累計)	—	(5)
⑪ ボランティア活動参加者	350 人/年	128 人/年	(6)

4. 歴史的風土創造的活用事業の内容

別紙のとおりとする。

5. その他必要な事項

事業の実施にあたっては、明日香村整備計画に基づく事業や関係機関等が実施する事業と有機的な連携を図り、これらを総合的に推進することにより目標の達成を目指すこととする。

また、社会経済情勢の変化等により計画を変更する必要がある場合は、変更計画を作成し、国土交通省に提出するものとする。

事業区分	1 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備	
事業名	1 歴史文化資源調査事業	
事業目的	飛鳥時代以降、連綿と培われてきた自然的環境や農村環境、歴史的町並み、祭礼行事等が重層的に積み重ねられてきたことによって成り立っている歴史的風土の価値を認識し、歴史展示等の活用につなげていくことを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>歴史文化資源の調査</u> 村内に潜在する歴史文化資源を新たな魅力として創出するため、飛鳥時代の遺跡だけではなく、その後連綿と培われてきた古民家や町家等の歴史的建造物、道標や常夜燈等の石造物、古文書等の調査を実施する。</p> <p>■ <u>歴史文化資源の情報発信</u> 村内に点在する歴史文化資源について、歴史展示等の活用につなげるため、多様な視点や分野からの調査に基づいて整備等を実施し、村内外に情報発信を行い、資源を再評価した上で、新たな魅力を創出する。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>古民家の調査風景</p>  <p>古文書の調査風景</p>

事業区分	1 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備	
事業名	2 歴史文化資源周辺環境整備事業	
事業目的	村内に点在する歴史文化資源について、ネットワーク道路等の環境整備を行うことにより、来訪者が快適に歴史文化学習ができる場を創出することを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>ネットワーク道路の整備</u> 快適かつ安全・安心に村内を周遊できるネットワーク道路の整備等を実施する。</p> <p>■ <u>歴史文化学習の場の環境整備</u> 歴史文化資源を快適に安全で安心して体感できるよう、案内施設等の整備等を実施する。 (実施箇所) 川原寺跡、高松塚古墳、定林寺跡、キトラ古墳、大官大寺跡、飛鳥稲淵宮殿跡、於美阿志神社、都塚古墳、中尾山古墳、亀石、牽牛子塚古墳、岩屋山古墳、東山万葉展望台遊歩道、飛鳥水落遺跡、マルコ山古墳、八釣マキト古墳、酒船石遺跡、各公衆便所</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>周遊歩道の整備</p>  <p>環境整備後の高松塚古墳</p>

事業区分	1 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備	
事業名	3 歴史展示推進事業	
事業目的	歴史文化資源の調査によって得られた情報を積極的に公開するとともに、視覚的に認識できる展示と周辺遺跡との関連性等が理解できる歴史展示を推進することを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>歴史文化資源の公開</u> 歴史文化資源の調査によって得た情報を埋蔵文化財展示室等において、速報展・企画展、発掘体験等を通じて公開するとともに、ボランティアガイドによる解説等により発信し、地下遺構を積極的に公開する。</p> <p>■ <u>遺跡解説板の整備</u> 村内に点在する遺跡等の解説板について、世界遺産登録を見据えながら、周辺市町村と連携して周辺遺跡との関連性・飛鳥時代に活躍した人物等が理解できる整備を実施する。</p> <p>■ <u>新たな技術を活用した歴史展示の推進</u> VR・ARを用いて飛鳥時代の遺跡の造営当初の姿やその造営過程を視覚的に認識できる展示のための映像を制作するとともに、既存の映像等との連携を図る。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>発掘体験</p>  <p>飛鳥宮跡のCG復元</p>

事業区分	2 明日香村にふさわしい景観創出	
事業名	4 明日香村にふさわしい景観創出事業	
事業目的	良好な集落景観の維持・継承や周辺の環境と調和した公共施設等の修景を実施するとともに、田園景観を構成する農地や山林に対して、樹林地・里山の適切な管理・活用を図ることで、明日香村にふさわしい景観創出を実現し、より良好な形で後世に伝えることを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>景観に関する計画の策定</u> 大字ごとの特性や誇りを継承するため、大字景観計画の策定を推進する。</p> <p>■ <u>良好な集落景観の維持・継承</u> 良好な集落景観を維持・継承するため、建築物等の修景や住民等の活動に対して多様な支援を実施する。</p> <p>■ <u>公共施設の修景</u> 周辺の環境と調和した道路や河川の改修等を実施するとともに、公共施設の建築又は改修についても、歴史的風土と調和した意匠・形態とし、景観を阻害する施設についても除却を行う。</p> <p>■ <u>里山景観の創出・活用</u> 樹林地の適正な管理を通じた良好な宮跡・田園・里山といった連続性のある良好な景観の創出、林縁部において鳥獣対策にも寄与する緩衝帯の整備を推進し、里山景観を創出し、積極的な活用を実施する。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>整備後の集落内道路</p>  <p>改修前 改修後</p> <p>建築物の修景</p>

事業区分	3 歴史的風土を活用した地域産業振興	
事業名	5 農商工活性化支援事業	
事業目的	<p>村内の農商工従事者の生産意欲の向上と販売等に向けた啓発活動を促進するため、基盤となる環境整備を実施し、農商工の活性化による雇用機会の維持及び創出を推進することを目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ <u>小規模な農林業基盤の整備</u> 担い手不足が深刻な農業の維持・保全を図るため、新規就農者等に対する支援として小規模な農業水路や農道、林道等の基盤整備を実施する。</p> <p>■ <u>生産意欲向上と雇用機会の維持・創出</u> 農林産物品評会を実施するとともに、農商工業者の商品展示や販売の啓発を実施し、農商工業者の生産意欲の向上を図り、雇用機会の維持及び創出を実現する。</p> <p>■ <u>戦略的農業の推進</u> 農業従事者の所得や生産意欲の向上を図るため、戦略的に新たな加工品等を創出し、販路の拡大を促進することで、農業の6次産業化を推進する。</p> <p>■ <u>チャレンジショップの推進</u> 明日香村で出店・開業を目指す人材の育成及び経営基盤形成に対する支援を実施し、村内における雇用機会の創出を図る。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>新たな加工品の創出</p>  <p>チャレンジショップ「ASUCOME」</p>

事業区分	3 歴史的風土を活用した地域産業振興	
事業名	6 定住雇用促進推進事業	
事業目的	<p>空き家・土地情報バンクシステムを活用した定住人口増加の取組や、市街化区域における住宅地創出、企業誘致の促進を図り、魅力的な村づくりによる新たな担い手確保と地域活力の向上を目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ <u>空き家バンク活用事業</u> 地域活力の基底となる定住人口の増加に向けて、空き家・土地情報バンク制度を充実し、契約等にかかる負担軽減を図るとともに、村内外への情報発信を実施する。</p> <p>■ <u>定住促進モデル事業</u> 檜前いおり野に続く市街化区域における新たな住宅地の創出のため、住民の意向調査等を実施し、明日香村の歴史的風土と調和した景観のための空間設計等について検討を実施する。</p> <p>■ <u>企業誘致促進事業</u> 経済活性化と雇用機会の創出のための支援及び基盤整備の検討を実施する。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>空き家を活用した民宿</p>  <p>新たな住宅地「檜前いおり野」</p>

事業区分	4 歴史的風土の保存についての国民啓発	
事業名	7 歴史的風土の担い手育成事業	
事業目的	歴史・文化を体系的に学習する郷土学習や村の魅力を広く発信できる人材の養成、伝承芸能の保存活動を通じて、村の魅力を広く国民に啓発し、次世代への継承を推進することで村の歴史的価値を守ることを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>郷土学習推進事業</u> 幼・小・中において、明日香村の自然や歴史、産業、文化遺産など、明日香村の歴史・文化を体系的に学習する郷土学習を推進し、郷土に誇りを持ち、村の魅力を発信できる人材を育成する。</p> <p>■ <u>歴史的風土の担い手育成事業</u> 歴史的風土の担い手の育成として、村内在住の中学生を海外に派遣し、ホームステイや現地校との交流等を通じて国際理解を深め、飛鳥地域の歴史的な位置付けを理解し、村の魅力を広く発信できる能力を養成する。</p> <p>■ <u>伝承芸能保存活動支援事業</u> 伝承芸能の魅力を保存活動事業を通じて国民に広く啓発し、次世代への継承を実施する。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>歴史的風土の担い手育成事業</p>  <p>小学校への出前講座</p>

事業区分	4 歴史的風土の保存についての国民啓発	
事業名	8 飛鳥の魅力発信事業	
事業目的	「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向け、歴史文化資源を通じて明日香村の魅力を全国に発信するとともに、歴史的風土の保存と活用への理解・協力を求め、後世へ適切に継承していくことを目的とする。	
事業概要	<p>■ <u>歴史文化資源の魅力発信</u> 世界遺産登録の実現をさらに推進するため、最新の発掘調査成果や東アジアにおける交流の歴史・万葉文化等の明日香村の歴史文化の魅力を講演会や展覧会等を通じてわかりやすく国内外に発信する。</p> <p>■ <u>歴史的風土の保存と活用への理解・協力</u> 世界遺産登録を見据え、明日香村内に点在する遺跡での発掘調査等を通じて得られた情報をデジタル化し、ウェブサイト等においてわかりやすく公開することで、世界遺産をはじめとした村の魅力を国内外に伝え、その背景にある歴史的風土の保存と活用への理解・協力を得る。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>首都圏での講演会</p>  <p>観光イベントでの世界遺産のPR</p>

事業区分	5 歴史的風土を活用した観光・交流による魅力向上	
事業名	9 観光基盤整備事業	
事業目的	<p>宿泊型・滞在型観光を推進するため、快適な周遊環境の創出や体験プログラムの充実を図り、「明日香まるごと博物館」の実現に向けた受入環境の整備を図ることを目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ <u>効率的な周遊手段の創出</u> 観光来訪者の円滑な村内移動に活用されている周遊バスの運行に加えて、鉄道駅と史跡・名所や観光拠点施設間をつなぐ、新たな効率的な周遊手段を創出するとともに、利用促進に向けた取り組みを企業や国営公園等と連携して推進する。</p>	<p>イメージ図</p>  <p>周遊バスの運行</p>
	<p>■ <u>体験プログラムの充実</u> 文化財や自然、農業、祭礼行事等をはじめとした明日香村の多様な魅力が体感できる体験プログラムの充実化に向けた取組を支援し、商品造成及び販売を拡充を行う。</p>	 <p>体験プログラムの実施</p>

事業区分	5 歴史的風土を活用した観光・交流による魅力向上	
事業名	10 観光活性化事業	
事業目的	<p>「明日香まるごと博物館」の実現に向け、観光業を中心に農林商工が連携してイベントを開催し、来訪意欲の向上や観光来訪者と村民の交流促進を図ることを目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ <u>観光交流の推進</u> 担い手不足等により継続が困難となりつつある伝統的な行事等について、歴史的風土を活用した村の魅力を体感できる観光イベントとして開催し、伝統行事の継承及び村民の伝統文化への認識の向上、さらには観光交流の推進を図る。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>古都飛鳥文化祭</p>
	<p>■ <u>新たな文化活動の創出</u> 村内外の芸術家による歴史的風土の活用と「あすか（飛鳥・明日香）」をテーマにした作品制作と展示の過程を通じて、新たな魅力の発信と地域活性化を図る。</p> <p>■ <u>観光プロモーションの推進</u> 観光入込客数の増加に向けて、観光来訪者のターゲットに合わせた観光情報を発信するため、多言語化も含めたWEBサイトの充実や戦略的な情報の集約による魅力発信、誘客プロモーションへの参画を実施する。</p>	 <p>新たな文化活動「飛鳥Art Village」</p>

事業区分	6 民間企業・地域団体・外部人材等と連携した地域活性化	
事業名	1 1 観光・農業戦略策定事業	
事業目的	<p>明日香村の主体性を生かし、自立性を高めていくため、特に観光及び農業分野において、多様な団体と連携して、今後目指すべき将来像を明確化することを目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ 観光戦略の策定 明日香村の主体性を活かし、自立性を高めていくため、従来の観光実態調査にビッグデータ活用による実態調査を加え、そこで得られたエビデンスを活用し、観光施策の基底となる効率的かつ効果的な観光戦略を多様な団体の参画を得て策定する。</p> <p>■ 農業戦略の策定 明日香村の主体性を活かし、自立性を高めていくため、営農環境の現状を把握するとともに、新技術を活用した新たな営農方法や体制の検証、地域に則した栽培品種の選定など、将来のあり方を全村的に共有する農業戦略を多様な団体の参画を得て策定する。</p>	<p style="text-align: center;">事業イメージ</p>  <p style="text-align: center;">観光資源としての稲渚の棚田</p>  <p style="text-align: center;">新規就農者に対する指導風景</p>

事業区分	6 民間企業・地域団体・外部人材等と連携した地域活性化	
事業名	1 2 新たな滞在型観光地盤整備事業	
事業目的	<p>観光産業及び地域経済の活性化のため、多様な団体と連携して、滞在型観光を推進し、村内滞在時間の延長及び観光消費の拡大を図ることを目的とする。</p>	
事業概要	<p>■ 古民家等再生基盤整備 観光産業及び地域経済の活性化に向けた滞在型観光を推進するため、宿泊や飲食施設等の設置を希望する民間事業者への空き家や既存住宅のリノベーションに対する支援を実施する。</p> <p>■ 「新たな滞在型観光地整備」検証事業 村内での滞在を楽しめるよう、「新たな滞在型観光地」として、滞在型観光のメニューとなる村内の宿泊施設や飲食店、観光施設の予約・手配を一括して管理できるシステムの構築・運営方法等の検証を村内事業者等と連携して実施する。</p>	<p style="text-align: center;">事業イメージ</p>  <p style="text-align: center;">空き家を活用した宿泊施設</p>  <p style="text-align: center;">空き家を活用した飲食施設</p>

<p>事業区分</p>	<p>6 民間企業・地域団体・外部人材等と連携した地域活性化</p>	
<p>事業名</p>	<p>13 多様な団体との連携事業</p>	
<p>事業目的</p>	<p>明日香村の歴史的風土の保存と活用を継続的に行うため、多様な団体等の活動に対する支援を実施し、魅力ある地域づくりを推進していくことを目的とする。</p>	
<p>事業概要</p>	<p>■ <u>多様な団体による歴史的風土の保存と活用</u> 荒廃した農地や里山・森林の修景の担い手となる地域住民や都市住民、企業、ボランティア等の受入体制の充実を図り、歴史的風土が貴重な資産であることを国民に広く啓発し、歴史的風土の保存と活用を推進する。</p>	<p>事業イメージ</p>  <p>ボランティアによる里山の環境美化活動</p>  <p>企業による森林の景観維持活動</p>